

目次

第一章 埼玉県秩父地方の小正月	
一、はじめに	1
二、正月行事	3
1. 正月の準備	4
2. 正月の行事	6
三、小正月行事	8
1. モノツクリ	8
2. その他の小正月行事	34
第二章 越後・妻有地方における小正月のつくりものについて	49
一、はじめに	49
二、年中行事のあらまし	49
三、小正月行事とつくりもの	66
第三章 小正月の人形	
一 中部日本におけるモノツクリの一つとして	89
はじめに	89
一、各地の事例	89
1. 静岡県の事例	89

2. 山梨県の事例	91
3. 東京都の事例	97
4. 神奈川県事例	97
5. 群馬県の事例	99
6. 長野県の事例	102
7. 新潟県の事例	106
二、小正月の人形(概要)	115
1. 「人形」という用語	115
2. 分布状況	115
3. 人形の名称	115
4. 素材	117
5. 形態	118
6. 作る主体と数	118
7. 祀る場所	118
8. 祀り方、送り方	118
9. 人形を祀る目的、人形の効験	119
10. 道祖神との関係	119
11. 今後の課題	120

日本常民文化研究所調査報告 第一集

小正月行事とモノツクリ——秩父・越後・中部——
一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号一〇二 振替・東京八二一九六三九

電話 東京(〇三)三二六五―〇四七一(編集)

三二六五―〇四五五(営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します(送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48531-6

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数122

目次

序

例言

第一章 富士講の系譜…………… 1

第二章 富士塚概説…………… 35

第三章 富士講、富士塚の民俗

一、東京都の富士塚…………… 53

二、神奈川県 of 富士講、富士塚 — 南武蔵地方 —…………… 87

第四章 富士塚の実測

一、高松町浅間神社富士塚

1 高松町浅間神社境内実測図…………… 129

2 同 富士塚実測図…………… 130

3 同 富士塚について…………… 132

4 同 塚内石像物リスト…………… 134

二、下谷坂本小野照崎神社富士塚

1 下谷坂本小野照崎神社境内実測図…………… 135

2 同 富士塚実測図…………… 136

3 同 富士塚について…………… 137

4 同 塚内および周辺石造物リスト…………… 139

三、江古田浅間神社富士塚

1 江古田浅間神社境内実測図…………… 140

2 同 富士塚実測図…………… 142

3 同 富士塚について…………… 143

4 同 塚内および周辺造宮物リスト…………… 151

日本常民文化研究所調査報告 第二集

富士講と富士塚——東京・神奈川——

一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号一〇二 振替・東京八二一九六三九

電話 東京 〇三 三三六五 〇四七一 (編集)

三三六五 〇四五五 (営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します (送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48532-4

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数154

目次

序

第一章 南九州の小正月とモノツクリ

一、南九州小正月モノツクリ民俗地図……………1

1. ホダレヒキの作り物……………5

2. メノモチと粟穂……………7

3. ハラメウチと祝捧……………9

4. ナレナレ・モグラウチ・スズメオイと祝捧……………11

5. カセダウチと贈物……………13

二、熊本県球磨郡須恵村中島のシユンナメジヨ

—小正月のモノツクリと関連行事—……………15

1. はじめに……………15

2. 小正月のモノツクリ……………15

3. 小正月以後の関連行事……………22

三、小正月とモノツクリ

—大分地方における—……………26

1. はじめに……………26

2. 大正月の準備……………26

3. 大正月の行事……………27

4. 小正月の行事……………29

四、カセダウチ

—薩摩郡入来町辻原・川辺郡知覧町永里—……………38

1. 仮装神……………38

2. 神々の贈物……………38

3. 準備……………43

4. 神々の訪問……………44

五、アウンホツクリ・コメンホツクリ

—曾於郡末吉町・財部町を中心にして—……………48

1. はじめに……………48

2. 各事例について……………48

あとがき……………57

六、大隅地方の小正月とつくりもの……………58

1. 年の晩……………58

2. 元日……………59

3. 正月二日……………60

4. 正月四日……………61

5. 正月六日……………61

6. 正月十一日……………62

7. 小正月……………62

8. 正月十八日……………69

9. 正月二十日……………70

七、種子島の小正月行事とモノツクリ……………71

1. 種子島の小正月行事概観……………71

2. 家庭における稲作儀礼とツクリモノ……………71

3. 村落における民俗行事とツクリモノ……………77

第二章 奈良県野迫川村の正月行事

—オコナイとモノツクリ—……………83

はじめに……………87

1. 正月行事……………89

2. 弓手原のオコナイ……………98

3. 北今西のオコナイ(オンダ)……………109

4. 平のオコナイ……………114

第三章 東日本の小正月行事とモノツクリ諸相

一、神奈川県モノツクリ資料

—門入道を中心に—……………119

はじめに……………123

1. 門入道……………123

2. 粟穂稗穂……………127

3. 削り掛け……………127

4. 粥掻き棒……………128

おわりに……………129

二、岩手県北の正月二例……………130

1. 仏を迎えての正月……………130

2. オシラサマを迎えての小正月……………133

日本常民文化研究所調査報告 第三集

小正月行事とモノツクリ——南九州・大和ほか——
一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号一〇二 振替・東京八二一九六三九

電話 東京(〇三) 三二六五―〇四七一(編集)

三二六五―〇四五五(営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します(送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48533-2

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数138

目次

第一章 江戸の富士講	
1. 講の発生	1
2. 講の広がり	3
3. 講の構成	7
4. 先達	10
5. 拝み	14
6. 御師	20
7. 登山	27
8. 富士講禁令	38
第二章 丸嘉講田無組の展開とその史料	
1. 食行身祿の入定	43
2. 丸嘉講田無組	44
第三章 神奈川県 <small>の</small> 富士講と富士塚 — 相模地方 —	
はじめに	59
各地の事例	59
1. 三浦半島地区	59
2. 相模川左岸地区	63
3. 相模川右岸地区	69
4. 津久井相模原地区	80
まとめ	82
第四章 埼玉県 <small>の</small> 富士講と富士塚	
一、不二道と土持ち	89
二、川口市周辺の富士講	92
三、埼玉県北部の富士塚	95
1. ㊦鐘講と富士塚	95
2. 明治十三年の㊦鐘講	96
3. ㊦鐘溝の富士塚	98
4. 埼玉県北部の富士講社	108
四、荒川西部地域の富士講と富士塚	111

第五章 千葉県富士塚

一、上総地区の富士塚……………125

二、下総地区の富士塚……………133

第六章 富士塚の実測

一、熊野堂富士塚の実測……………141

1. 熊野堂富士塚について……………141

2. " 実測図(1)……………142

3. " 実測図(2)……………143

4. " 造営物リスト……………144

二、木曾呂富士塚の実測……………149

1. 木曾呂富士塚について……………149

2. " 実測図……………150

3. " 造営物リスト……………151

日本常民文化研究所調査報告 第四集

富士講と富士塚——東京・埼玉・千葉・神奈川——

一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号 一〇二 振替・東京八二九六三九

電話 東京(〇三) 三二六五―〇四七一(編集)

三二六五―〇四五五(営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します(送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48534-0

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数160

目次

序

I 紀年銘民具目録……………1

II 紀年銘民具図録……………90

調査について

調査協力館(者)名簿

日本常民文化研究所調査報告 第五集

紀年銘(年号のある)民具目録・凶録——東日本——

一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号一〇二 振替・東京八一二九六三九

電話 東京(〇三) 三二六五一〇四七一(編集)

三二六五一〇四五五(営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します(送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48535-9

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数154

目次

序

例言

第一章 東日本の千刃扱き…………… 1

—その産地と伝播—

第二章 会津地方における脱穀・調整用具…………… 79

第三章 紀年銘を有する唐箕について…………… 109

—東日本を中心に—

日本常民文化研究所調査報告 第六集

紀年銘(年号のある)民具・農具調査——東日本——

一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号一〇〇二 振替・東京八二二九六三九

電話 東京(〇三三)三二六五―〇四七一(編集)

三二六五―〇四五五(営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します(送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48536-7

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数148

目次

序

調査について

I 紀年銘民具目録…………… 1

II 紀年銘民具図録…………… 88

調査協力館(者)名簿

日本常民文化研究所調査報告 第七集

紀年銘(年号のある)民具目録・凶録——西日本——

一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号一〇二 振替・東京八二二九六三九

電話 東京(〇三) 三二六五―〇四七一(編集)

三二六五―〇四五五(営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します(送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48537-5

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数160

目次

序	
調査について	
第一章 西日本唐箕の特色	1
第二章 農具商についての史的考察	11
第三章 西日本の千刃扱き	22
——その発生と展開——	
第四章 会津地方における近世農具	65
——絵画・文献資料を中心に——	
第五章 沖縄の厨子甕	109
第六章 輪島漆器	149
附 紀年銘をもつ輪島塗と製作用具	

日本常民文化研究所調査報告 第八集

紀年銘(年号のある)民具・農具調査等——西日本——

一九九三年八月二十日 復刻第一刷発行

編者——神奈川大学日本常民文化研究所

発行者——下中 弘

発行所——株式会社平凡社

東京都千代田区三番町五

郵便番号一〇二一 振替・東京八一二九六三九

電話 東京(〇三) 三三六五―〇四七一(編集)

三三六五―〇四五五(営業)

印刷——藤原印刷株式会社

製本——株式会社石津製本所

乱丁・落丁本は小社読者サービス係でお取り替え致します(送料小社負担)

©神奈川大学日本常民文化研究所 1993 Printed in Japan

ISBN4-582-48538-3

NDC分類番号380 B5判(25.7cm) 総ページ数184